

2021年11月12日

各 位

会 社 名 野村マイクロ・サイエンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 八 卷 由 孝  
(コード番号：6254)  
問合せ先 取締役管理本部長 三 阪 雅 登  
(TEL 046-228-5195)

「中期経営計画 HiPES - 2023 (リバイス)」の策定に関するお知らせ

記

2020年8月11日に公表いたしました中期経営計画について、数値計画目標及び営業戦略を見直し、各種基盤強化策を策定いたしましたのでお知らせいたします。

なお、計画の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上



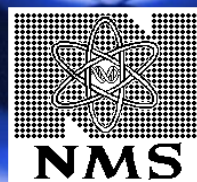
# 中期経営計画

## HiPES<sup>®</sup> – 2023 (リバイス)

High-Purification & Eco-Solution & Health-Support  
2023

2021年11月12日

野村マイクロ・サイエンス株式会社



## 経営方針

## 基本理念

水の純化とその関連技術を通して社会に貢献し、持続的に成長できる会社

## 経営ビジョン

高純度化技術、環境関連技術を基盤とし、健康サポートに貢献し、持続的な成長と総合基盤強化を目指す

①High Purification

②Eco Solution



HiPES企業

③Health Support

## 経営目標

1. アジアにおける半導体・FPD・製薬工場向け純水・超純水装置の卓越した企業を目指す
2. 営業利益10%以上をKPIとし、自己資本比率の向上等財務基盤の強化を図る
3. 顧客満足度が高いハイテク技術とサービスを提供し、地球環境貢献と社会的価値向上を目指す
4. 企業価値を向上させ、株主還元を高めていく



## '20/8月発表中期経営計画目標

'24/3月期目標

売上高300億円

営業利益10%以上



'21/3月期  
達成



## 今回発表中期経営計画目標

'24/3月期目標

売上高415億円

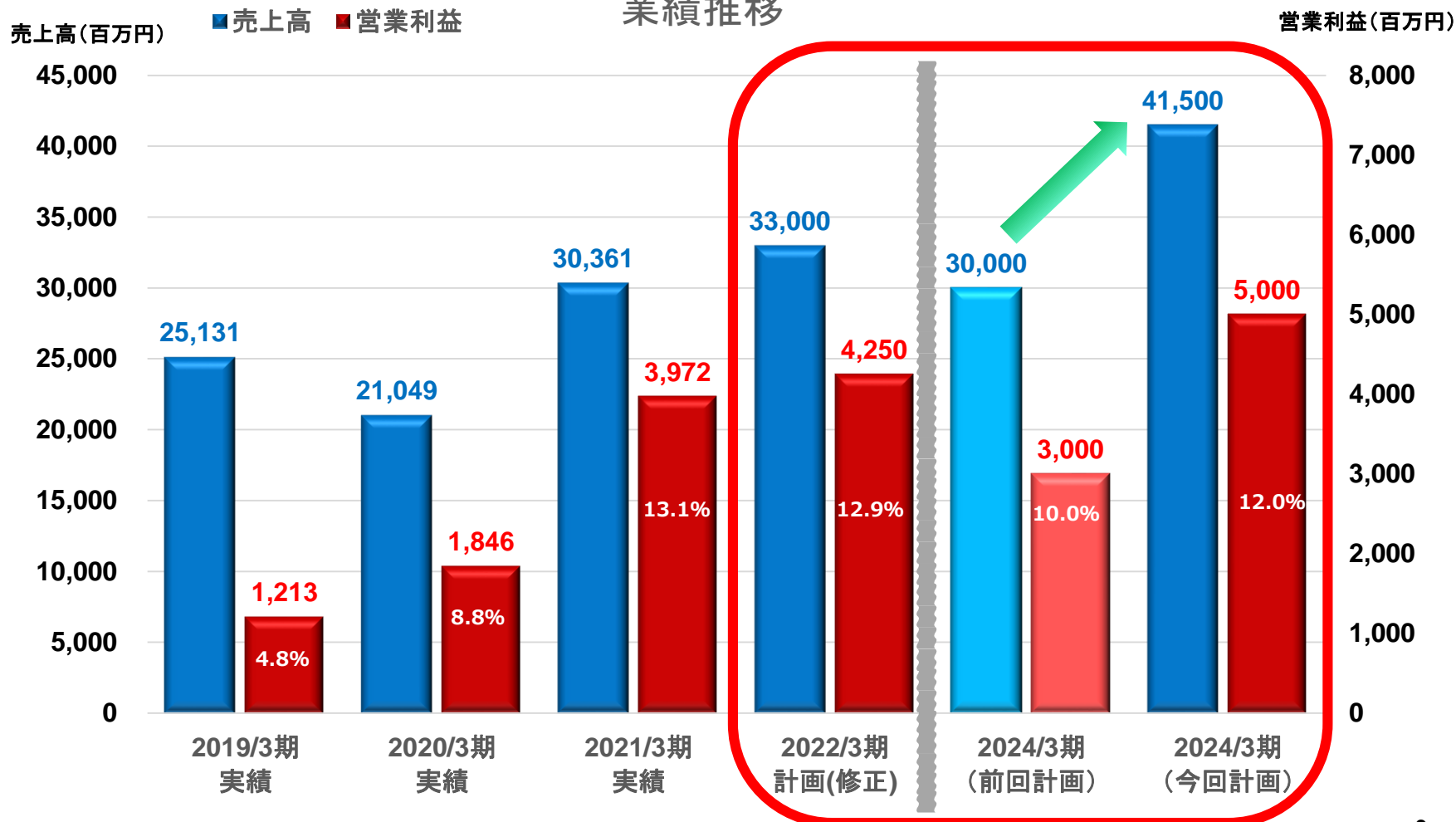
営業利益12%以上（50億円以上）

# 中期経営計画 '22/3期~'24/3期

'20年8月公表数値を、現在の事業環境及び経営方針等勘案しリバイス

⇒ '24/3期 売上高415億円、営業利益50億円以上を目標とする

## 業績推移

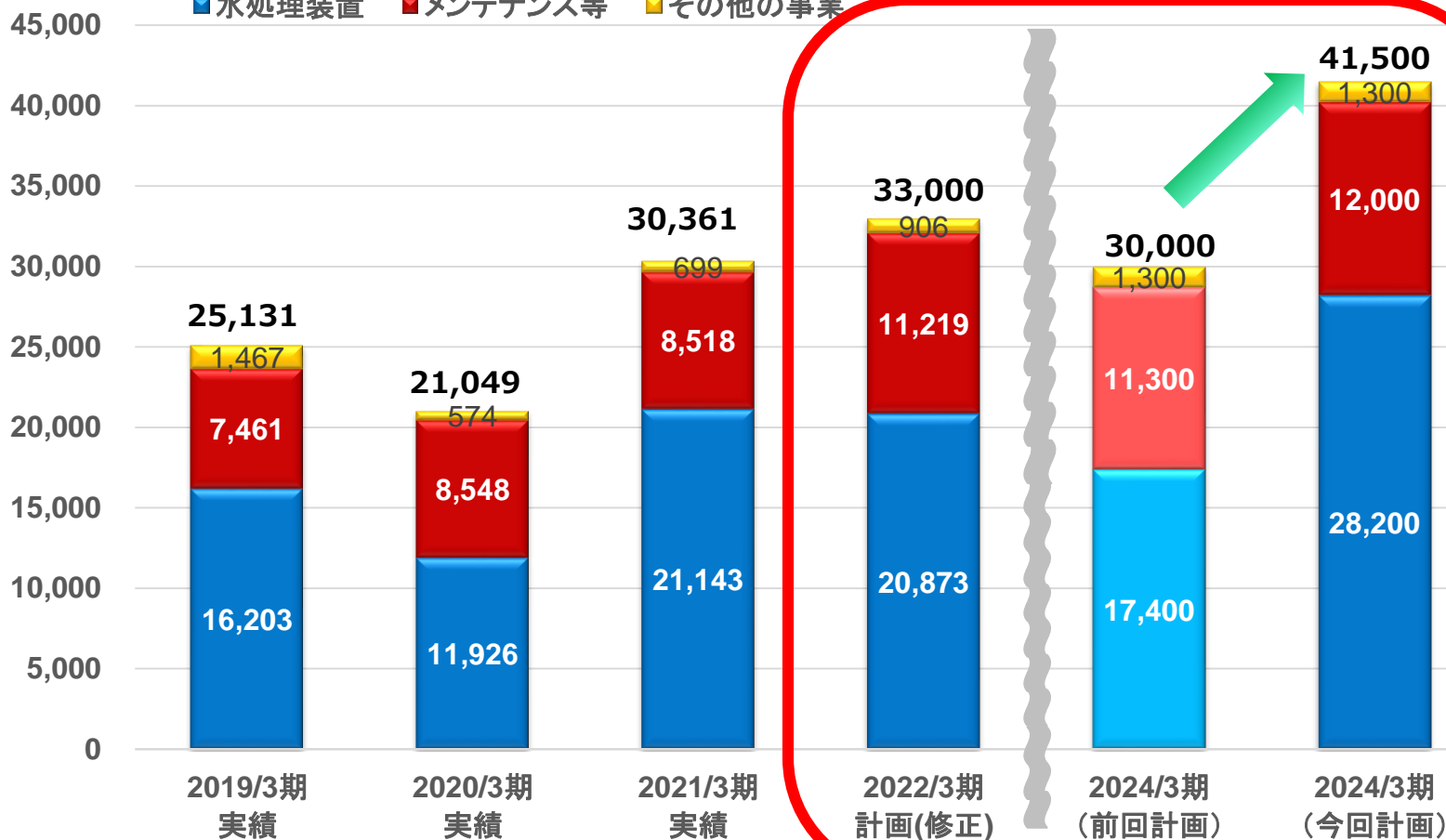


## 水処理装置、メンテナンス等とともに増収基調

### 連結売上 内訳

売上高(百万円)

■ 水処理装置 ■ メンテナンス等 ■ その他の事業



	項目	ターゲット	施策
成長シナリオ 事業ドメイン	電子産業	半導体・FPD	・顧客ニーズに沿ったシステム提案
	その他産業	製薬・その他	・先行優位技術の導入 & 地域戦略による新規開拓
基盤強化	体制強化	エンジニアリング体制強化	・生産効率向上に向けた業務見直し ・人材の補強・育成
		外部ネットワーク連携	・協力会社とのパートナーシップ強化
	研究開発	最先端半導体	・分析及び超純水製造技術の向上
	戦略投資	コアテクノロジーの飛躍	・分析感度の進化
	人材活性化	ダイバーシティ、働き方改革	・女性、外国人、障がい者、シニア人材の活躍機会を創出した職場環境へ
	SDGsへの取組み	環境に配慮した装置構成	・省エネ、省ケミカルへの取組み

- **半導体投資状況：**

投資の前倒し実施含め、韓国、中国を中心に工場建設・増設多数、国内では半導体製造装置、個別半導体、製造用薬品等の投資が加速

- **FPD関連投資状況：**

在宅、巣籠需要急増を背景に有機EL、液晶共に需要拡大し、投資が再開

- **製薬市況：**

バイオ製剤・ワクチンを中心とした内需製薬関連投資が活発化

- **米中貿易摩擦・日韓問題・新型コロナ感染拡大による市場の縮小：**

- ・米中貿易摩擦は継続 半導体が国家経済安全保障の戦略物質化
- ・新型コロナ感染は依然収束を見ないが、ワクチン接種開始により共存した経済活動に移行し、徐々に活性化

## 半導体製造装置 (日本製装置売上高予測)



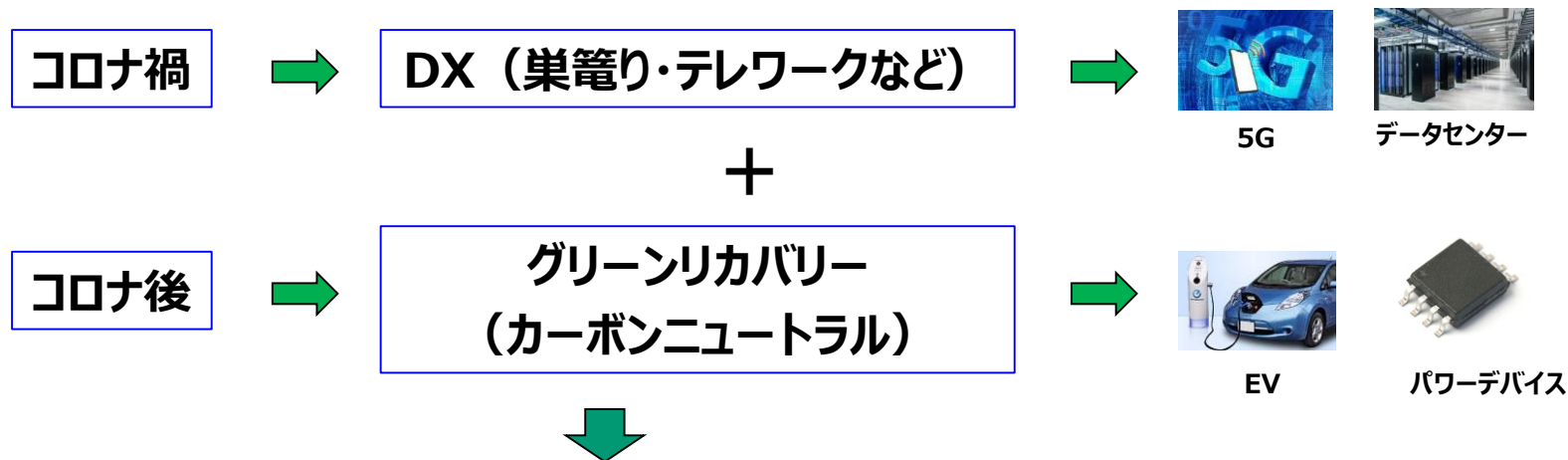
出典：SEAJ Journal 2021. 9 No.174より

■ 半導体    ■ 成長率



## ■ 成長が見込まれる半導体関連メーカーへの対応強化

アフターコロナの半導体世界市場成長率10% (英調査会社OMDIA社資料より)



先端ロジック・メモリ半導体だけでなく、レガシー半導体・ディスクリート・パワーデバイスも世界的に需要増

更に半導体市場の拡大へ (工場建設案件増 + 製造装置・関連素材や薬品の需要増)

## 1. ワクチン製造会社の継続投資への対応

既存顧客の継続投資への確実な対応と、ワクチン製造用水の実績を基に顧客拡大

## 2. 新規顧客拡大

総合ヘルスケア企業（医療用医薬品から一般用医薬品まで）、ジェネリック製薬会社の新規工場への積極的アプローチ

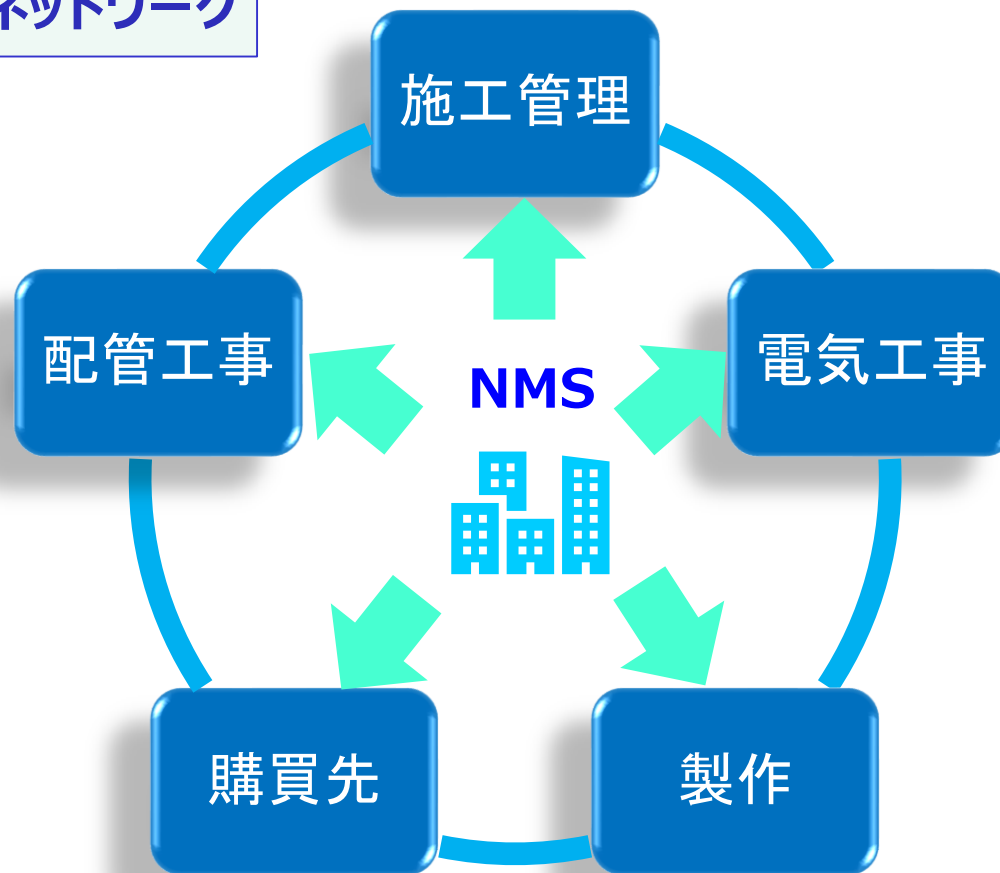
## 3. 成長への具体的アクション

- ・**超ろ過WFIの積極提案**：自社実績による信頼性・先行技術を核とした営業
- ・**新ユニット装置の開発・上市**：新部署の設立、新規ユーザー開拓、効率的提案
- ・**蒸留器から超ろ過WFIへのレトロフィットを提案**：顧客への省エネ化提案(SDGs)

企業基盤強化	取組み
エンジニアリング体制強化 生産効率UP	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジニアリング機能を区分した専担制度を導入し、業務効率向上を目指すと共に品質管理を徹底</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適材適所の徹底による人員再配置により高効率化を実現</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DX推進による業務効率向上</li> </ul>
外部ネットワーク強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力会社との連携を一層強化</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験豊富な派遣社員の登用推進</li> </ul>
研究開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最先端分野からの要求に対し“さらに先”を行く半導体向け超純水製造装置開発と分析技術の確立を加速</li> </ul>
戦略投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度な技術創出の加速を目的に、開発・分析棟新設及びそれに伴う厚木地区の整備を3年以内を目途に実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規*BOOM事業の拡大 <small>* Build Own Operate and Maintenance</small></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーン化ソリューション事業強化</li> </ul>
人材活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業成長に向けたダイバーシティ、働き方改革を推進</li> </ul>
SDGs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガス（GHG）削減目標15%</li> </ul>

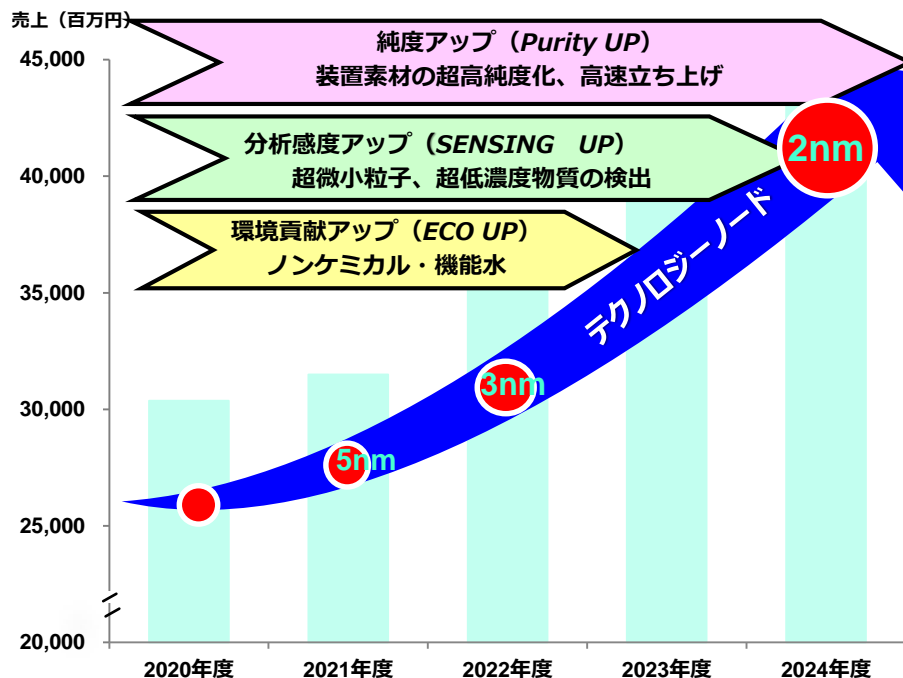
## ■ 仕入先・外注先等協力会社とのパートナーシップを強化

### NMSグループネットワーク



## ■ 成長のための超純水製造技術及び分析技術

### SMART UP3 ロードマップ



<半導体微細化と将来予測>  
半導体微細化ロードマップ  
"2nm"から先は? ⇒ 微細化、立体化



- ① 要求水質の超高純度化
- ② 大量使用による超純水製造装置大型化
- ③ 超微量分析技術の確立

### 成長のための開発課題と対応

- ・ 半導体の微細化 → テクノロジーノード 5nm→3nm→2nm … 純度アップ、分析感度アップ
- ・ UPW使用量増加 → 高スペックのまま大型化 … 省スペース・省エネ・環境負荷低減

## ■ 企業の成長に向けたダイバーシティ、働き方改革を推進

### 女性活躍機会の推進

女性からの構造改革・新規事業提案  
女性管理職の登用を推進  
新卒採用女性比率は20%以上を継続

### 外国人の採用

事業展開国の人材を採用し、現地の習慣・文化と日本企業文化を積極的に融合し現地顧客とのコミュニケーションを強化

### シニア人材の活躍

60歳の定年後、70歳まで働ける制度を構築、現場経験を活かした現場管理業務、社内人材を育成（アルムナイ制度の検討）

### 柔軟な時間活用

第3金曜日の休日化及びフレックスタイム制度にて、柔軟な時間活用による社員のモチベーション&スキルアップを推進

### 障がい者の活躍

法定雇用率(2.3%)を満たし、各部門内において秀でた能力・個性を発揮

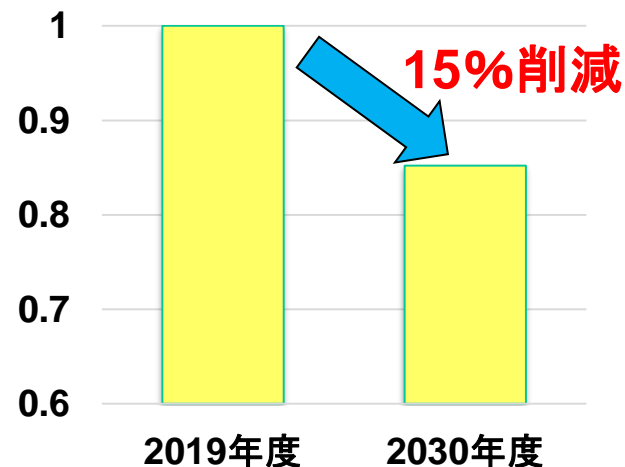
### 子育て支援

男性も取得可能な育児休暇・看護休暇・短時間勤務制度を設け、社員の業務環境を安定化

## <方針> 地球温暖化に対応した超純水技術の開発と提案により 最先端半導体製造を持続的にサポート

- ① 超純水製造装置の省エネルギー技術  
を発展させGHG排出量削減
- ② 水の再利用技術とエネルギー回収  
(熱の再利用等)への取組み推進
- ③ 薬品を使わない超純水製造装置や  
洗浄プロセスの提案
- ④ 海外各地域での製品調達、労働力  
の積極的活用、及びグリーン調達の  
実施

### 温室効果ガス (GHG) Scope3 排出量削減目標 (Category11)



2030年度までに新規納入超純水製造装置の  
温室効果ガス排出を15%削減



## ■ 中長期的視点

1. 半導体製造装置成長率10% + 製薬関連受注増により増収基調を確実に達成する
2. 各種基盤強化策を実施し、企業体質強化を図る
3. 財務健全性の維持・向上をベースにバランスの取れた投資・資本増強・配当を実施
4. コンプライアンスを遵守し、事業を通じて環境・社会に貢献

## ■ 中期経営計画KPI

1. 2024/3月期 売上高415億円
2. 営業利益率12%以上確保



- 本資料には野村マイクロ・サイエンス株式会社(以下、弊社)の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述及び資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述及び資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

**野村マイクロ・サイエンス株式会社**

URL <https://www.nomura-nms.co.jp>